

ふりがな 氏 名	しばた えつこ 柴田 悦子	職 名	講 師
取 得 学 位	家政学士	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	保育内容演習(遊びと文化)、幼児理解の理論と方法、保育・教職実践演習(幼稚園)、 幼児と環境、幼児保育総合演習Ⅱ、教育実習指導(幼)、保育内容総論Ⅱ、保育原理Ⅱ、 保育の計画と評価		
所 属 学 会	日本保育学会、全国幼児教育研究会(愛知支部理事長:平成30年4月～令和元年3月、令和元年 4 月～令和5年3月)保育者養成研究会(理事:令和2年4月～令和5年3月)、名古屋市幼児教育研究 会(理事:令和元年4月～令和5年3月)、名古屋市幼児教育アドバイザー(令和4年4月～令和5年3 月)		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
パワーポイントやDVDを使用して幼児理解の促進	令和2年～ 現在に至る	講義内容に関してのパワーポイントを作成し、幼児理解の理論について理解できるようにしたり、映像における幼児の行動や表情から内面を多面的に理解できるようにしたりしている。
教材作成及びその演習による体験型学習	令和2年～ 現在に至る	伝統遊びの紹介や発達に合わせた教材づくりすることですぐに実践に生かせるようにしている。また行事で使えるペープサート等の作成や演習計画づくり、演習を行い受講生同士が見合うことでスキルアップにつなげている。
環境を通して行う教育の重要性の理解の促進	令和2年～ 現在に至る	実際の保育現場の環境や教材、子どもたちの遊ぶ様子を写真で紹介し、環境の構成のもつ意味や重要性を理解できるようにし、指導案作成や教材準備に生かせるようにしている。
保護者対応についての具体的検討	令和2年～ 現在に至る	自身の実務経験事例を基に、保護者の思いを理解できるようにし、対応について考察及び、学生同士が互いの対応方法を発表し合うことで、対応の幅を広げるようにしている。
幼児の発達の理解と環境及び指導法の検討	令和2年～ 現在に至る	教育課程及び指導計画より、年齢に応じた幼児の姿や発達を理解し、環境の在り方や援助を考慮して指導案作成が行えるようにし、また、長時間保育の指導など多様な場面での保育を考えられるようにしている。
名古屋市立幼稚園新規採用者の指導	令和2年 4月～令和 4年3月	名古屋市立幼稚園の新規採用者の指導員として、年間通して保育参観、及び保育研究会を行う。就職後、1年を通しての実際の保育環境や発達に合わせた保育者の援助の在り方など写真やエピソードを用いながら学生に伝えたり、新規採用者だからこそ抱える悩みや1年の成長などを伝えたりし、現場のイメージがもてるようにしている。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
幼稚園教育実習の手引き 2021 年度版・2022 年度版・ 2023 年度版の作成	令和3年 3月～現在 に至る	名古屋女子大学文学部児童教育学科発行の幼稚園教育実習手引き2021年度版・2022年度版の作成に携わった。幼稚園教育実習を受けるための事前指導から実習及び事後指導に至るまで、学生が実習の意義を理解し、意欲的に実習に参加できるように、また記録や指導計画の書き方など細かい部分の指導に生かせるようにしている。
保育実習の手引き〔第4版〕・〔第5版〕・〔第6版〕の作成	令和3年 3月～現在 に至る	名古屋女子大学文学部児童教育学科発行の保育実習の手引き〔第4版〕・〔第5版〕の作成に携わった。保育実習を受けるための事前指導から実習、事後指導に至るまで、学生が実習の意義を理解し、意欲的に実習に参加できるように、また計画の立案や記録の書き方など細かい部分の指導に生かせるようにしている。
幼児の発達を理解した指導及び教材の促進	令和3年 4月～現在 に至る	幼稚園教育実習指導に携わり、実習における指導案の書き方や教材の作成などすぐに実践に生かせる具体的な指導を行った。自身の園長、教諭の実務経験を活かし、幼児の発達に合わせた指導法や教材など学生に伝えることで、具体的な援助や環境の設定などが考えることができるようにしている。
実習に向かう態度や心構えなど姿勢の指導	令和3年 4月～現在 に至る	幼稚園教育実習指導に携わり、受け手である園側の思いや評価基準など園長及び担当教諭としての実務経験から学生に伝え、実習に向けての心構えや姿勢などを考えることができるようにしている。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	1. 「伝承的な遊びの中での育ちを 捉えた保育の展開」	単	令和2年 8月	名古屋女子大学文学部 / シリーズ教育・保育の 論点「理論と実践」	著者:柴田悦子 全122ページ中、p. 99-106
	2. 「子どもの主体性を育む環境」	共	令和2年 7月	名古屋女子大学文学部 / シリーズ教育・保育の 論点「新時代の学び」	著者:柴田悦子 全136ページ中、p. 129-136
論 文	1. 『『幼児期の終わりまでに育って ほしい姿』を踏まえた指導や評 価の在り方に関する調査研究、 調査研究課題を必要感に基づく 体験を通して数量や図形、標識 や文字などへの関心、感覚を育 むための指導と評価』	共	平成30年 3月	名古屋市教育委員会/ 「平成29年度幼児期の 教育内容等深化・充実調 査研究」(文部科学省)	著者:津金美智子、和田直子、 柴田悦子他12名、全103ペー ジ中、4歳児p. 33-57 担当 p. 55-57 執筆

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	2. 「保育内容の総合的展開としての遊びに関する考察—学びと環境との関わりの観点から—」	共	令和元年 12月	名古屋女子大学文学部 ／児童教育論集第3号	著者:荒川志津代、柴田悦子 全95ページ中、p.66-75
	3. 「幼児理解を深める教育実習記録の指導に関する考察—エピソード記録を用いる試み—」	共	令和元年 12月	名古屋女子大学文学部 ／児童教育論集第3号	著者:吉村智恵子、柴田悦子 全95ページ中、p. 86-95
	4. 「写真から読み解く『領域・環境と表現』への配慮—保育者養成校における教育実習指導のための思索—」	共	令和3年 1月	名古屋女子大学文学部 ／児童教育論集第4号	著者:柴田悦子、堀 祥子 全99ページ中、p. 85-94
	5. 「事例から読み取る幼児の育ちと保育者の援助や言葉がけ—ダングムシとの関わりの中で—」	共	令和3年 12月	名古屋女子大学文学部 ／児童教育論集第4号	著者:柴田悦子、 全149ページ中、p. 130-139
その他 (報告書)	1. 指導計画・環境の構成写真集 4歳児(4期・5期)	共	平成30年 3月	名古屋市幼児教育実践 研究会	名古屋市幼児教育実践研究会 指導計画と実践グループ(グル ープ長:富田奈津子)全72ペー ジ中、「4期前半の指導計画及 び環境の構成写真集」(指導計 画4期前半p. 1-7、環境の構成 写真集p. 1-9を担当
	2. 環境のポイント・アイデア集(5 歳児編)	共	平成31年 3月	名古屋市教育委員会	名古屋私立幼稚園指導資料作 成委員会(委員長:富田奈津子) 全168ページ中「12月の環境の ポイントアイデア」12月p. 1-14 を担当